

第5回どんぐり山ファミリーウォーク



受付会場の様子

どんぐり山ファミリーウォークは、平成14年4月に岐阜・各務原の境で約410haという大規模な山林火災により焼失した跡地を、官民協働によるボランティア活動によって再生したことを記念し、山火事の記憶を風化させないことを願い始められた。



大勢の家族連れが参加

5月21日(土)、全国植樹祭5周年記念「第5回どんぐり山ファミリーウォーク」が岐阜市芥見と各務原市須衛町境の老洞峠山火事跡地 愛称「どんぐり山」において開催されました。



峠の貯水タンクに水を汲み上げている

ウォーキングは、県内から応募して集まった家族連れなど約200名が、岐阜市東部クリーンセンターを出発し、途中の老洞峠の貯水タンクに持参してきたペットボトルの水を運び上げ、往復約3kmのコースを歩いた。



チェックポイントの様子